

タイトル	労働に対する価値観の違いから見るブラック化した社会の課題		
所属	中京大学現代社会学部	岡部ゼミ	氏名 鈴木結衣

問題設定

労働に対する価値観の違いによるブラック化した社会の課題とは？
そもそもブラックってどんな状態？ブラックの行先は？

<ブラックをテーマにしたきっかけ>

👤バイト先で私にとってブラックだと感じる経験をしたから



お盆はバイト優先でスケジュールを立ててね。シフトが決まってからプライベートのスケジュールを決めてね



一回黙ろうか

調査概要

文献調査×インタビュー調査

文献調査(2020年夏)

厚生労働省のデータ(2008年)や大分大学経済論集、九州大学による大規模アンケート結果を中心的に参照としてデータを収集
働くことの意識/若者の労働意識/就社/労働観の変化/自由時間/労働観が変わった社会背景/減私奉公 etc

インタビュー調査(2020/11/7)

26歳のブラック企業から転職した経験を持つ男性を取材

調査内容

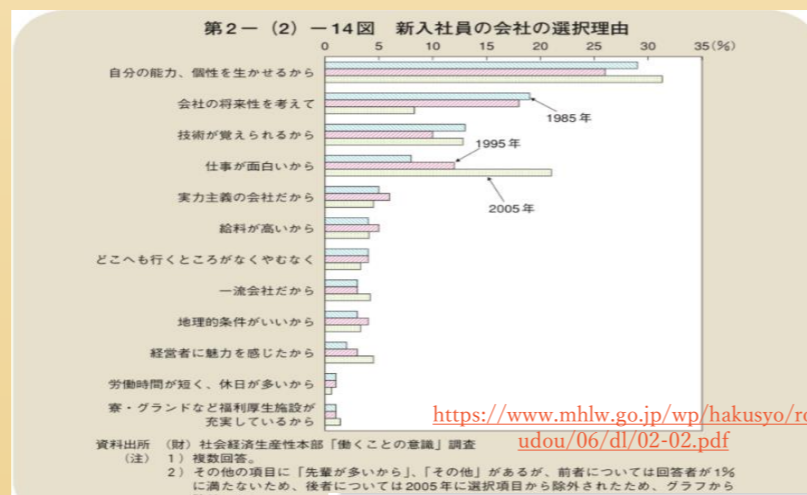
<文献調査>

「働くことの意識は過去から大きく変わっている」
→若者はブラックだと感じるようになった

いつから？
1985年から2005年にかけて労働意識の変化

なんで？
終身雇用的な考えが薄れ、成果主義システムを採用する企業の増加が背景

結局これって価値観の違いだよ
ね...

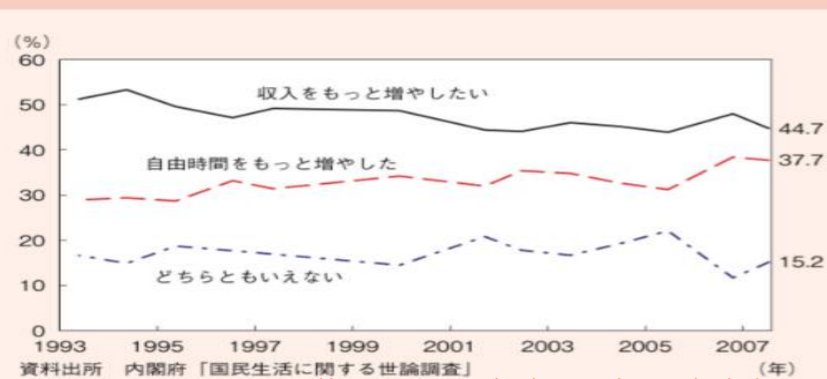


- ・給料より自由時間が欲しい
- ・会社への所属意識はそんなに
- ・会社より、業務内容が大事
- ・自分の時間削ってまで働きたくない

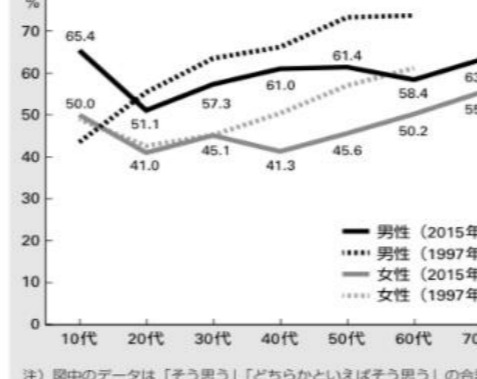
社会とともに人間の意識にも変化が



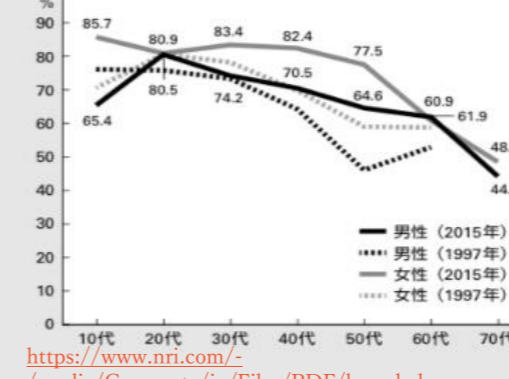
第2- (1) - 9図 収入と自由時間についての考え方の推移



自分の仕事の目的は会社を発展させることである



会社や仕事のことより、自分や家庭のことを優先したい



仮説と今後の課題

仮説

「価値観の違いによって生まれるブラックが若者の自殺率の高さに関係している」

自殺率とブラックってどのくらい関係してる？若者の自殺率はほかの年代と比べてもかなり高く、G7の中でも飛び抜けた高さ。

今後の課題

ブラックが及ぼしている影響の1つとして自殺と結び付けて考えてみる。
それにあたって、4種類の自殺論にフォーカスしていく

参考文献

- ・「勤労者意識の変化と働き方 第2章・厚生労働省」厚生労働省、p.114 (2020年12月20日) (<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/06/dl/02-02.pdf>)
- ・「就業意識の変化から見た働き方改革」日戸浩之 (2020年12月20日) (<https://www.nri.com/-/media/Corporate/jp/Files/PDF/knowledge/publication/chitekishisan/2017/07/cs20170703.pdf>)
- ・「第2章・厚生労働省」厚生労働省、p.87 (2020年12月20日) (https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/roudou/08/dl/02_0001.pdf)
- ・「日本企業内における労働者意識と価値観」大分大学経済論集 56(5) 2005.1 p.88-120 (2020年12月20日) (https://opac2.lib.oita-u.ac.jp/webopac/56-5-7_?key=PMYHVM)
- ・「新入社員の労働意識、価値観の変化に関する実証的研究」九州大学医療技術短期大学部紀要、21, pp.33-42, 1994-03 (2020年12月20日) (<file:///C:/Users/takoy/Downloads/>)
- ・「若者の労働運動」著：樋口昌治 / 株式会社 生活書院
- ・「若年者就業の経済学」著：太田シュウイチ / 日本経済新聞出版社
- ・「日本人はいつから働きすぎになったのか」著：磯川全次 / 株式会社平凡社

